

令和5年度 立正大学史学会 秋季研究報告会プログラム

(史学専攻 修士論文中間報告会)

*日時 令和5年10月15日(日) 10時00分～15時40分

*会場 5号館1階 511教室

*日程

【午前の部】

①10:00～10:35

「古代日本における陰陽道・陰陽師の存在意義—陰陽師研究の再検討—」

佐藤 蒼一郎 氏

(日本史専攻 主査：佐多 教授／副査：時枝 教授)

②10:35～11:10

「排日貨運動と上海日本人居留民の動向」

二本木 萌 氏

(日本史専攻 主査：真辺 准教授／副査：石山 教授)

③11:10～11:45

「近世後期における幕府の灯油対策

—江戸油市場と関東農村を中心として—」

石原 千尋 氏

(日本史専攻 主査：石山 教授／副査：真辺 准教授)

④11:45～12:20

「亀茲五銖銭の貨幣史的位置付け」

森下 慎也 氏

(東洋史専攻 主査：岩本 教授／副査：野沢 教授)

〈休憩〉 12:20～13:20

【午後の部】

⑤ 13:20～13:55

「南宋期における四川総領所の財政構造」

清水 颯太 氏

(東洋史専攻 主査：野沢 教授／副査：岩本教授)

⑥ 13:55～14:30

「世紀転換期ドイツの風刺画におけるユダヤ人表象」

見波 雅崇 氏

(西洋史専攻 主査：長谷川 教授／副査：野沢 教授)

⑦ 14:30～15:05

「地方官衙の建物概念と国庁類型—東日本の8世紀代を中心として—」

角 笙矢 氏

(考古学専攻 主査：時枝 教授／副査：佐多 教授)

※参加費等は無料です。また、事前申し込みも必要ありません。
皆様の参加をお待ちしております。